

R6通学路危険箇所一覧

継続・新規	学校名	住所	通学路の状況・危険の内容	危険箇所に対する要望	道路・種別	R6.6月会議	R6.10月会議
新規	万葉 中学校	宮谷町味真野橋付近 味真野橋付近の交差点 および道路 市道第5806号線	味真野校区の生徒が県道194を利用して登下校を行っている。朝は交通量も多く、スピードを出す車両も多い。特に味真野橋付近は、道が狭く、カーブが深いため見通しも悪い。そのため非常に危険である。県道を避けて登校させるために横断歩道を渡らせるようにしているが、そこも見通しが悪く、昨年度は自動車との接触事故が起きている。	・カーブミラーの新設（設置されているが古いことと、角度がよくないため、車から対向車や歩行者等が見えづらいため。） ・グリーンベルトの設置（味真野橋～味真野小学校の信号まで） ・交通指導員の配置 ・登校時間帯のパトロール	市道	・カーブミラーの場所を学校に確認する。カーブミラーの角度が良くない場合は、調整する。 ・効果的に設置するため、学校から500mの範囲内としている。（500m以上あるため対象外） ・交通指導員を配置できるか確認する。 ・警察は登校時間帯のパトロールに出ていると認識している。	・橋の近くのミラー。既存は古くなく、カーブミラーの角度を最大限調整している。 ・警察や交通指導員による登校時間帯のパトロール協力は可能。（1回/週程度）
継続	武生第六 中学校	ローソン、武生特殊鋼材交差点～王子保駅まで（県道205号 湯谷王子保停車場線）	小・中・高生の通学路となっている。スピードを出す車両が多い。ダンブカー等の大型車両が多い。ラバーポールを新設してもらってあるが、継続して注意喚起しなければならない。 ①踏切待機場所が狭い。 ②横断歩道の線が少し消えかかっている。	①遮断器駅側の北側、通学時、自転車が10台ほど止まって電車や小学生の通過を待つことある。白線の幅がとても狭いので、広くできないか。 ②横断歩道の白線塗り直し	県道	（合同点検にて検討する）	①曲線的な外側線を追加して路肩を広げ、ポールを立て車道と分離した。 ②横断歩道の白線塗り直しをした。